

これからの行事（4月の行事）

西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 平成30年度4月号】

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長 宮野藏郎

平成30年4月6日発行

薩摩川内市下飯町瀬々野浦 1194

TEL 09969-5-0122

FAX 09969-5-0355

- 6日 入学式（長浜小・海星中）
- 11日 会計監査
- 15日 地区内清掃
- 17日 第1回合同定例会
- 22日 平成30年度定期総会
- 22日 TV共聴組合総会
- 24日 48地区コミ主事連絡会
- 25日 //
- 26日 自治会運営説明会

平成29年度第7回役員・事業推進委員会合同定例会

平成29年度役員・事業推進委員会合同定例会が3月27日に行われた。

出席は23名／27名中。

①29年度の総括を行い②30年度の活動計画の素案が検討された。

定期総会は4月22日(日)で、さかのぼって4月17日平成30年度第1回役員・事業推進委員会合同定例会、11日会計監査、3月中に自治会班会議を終えておくことなどが確認された。

29年度の未消化行事はテングサ採り(悪天候)と衛自連呼びかけの浜掃除。浜掃除は取り組む姿勢はあったが日程がくめなかった

30年度の活動計画として運動会日程を九州情報大学等とのからみがあるため9月30日とした。

11月18日竜宮文化フェスタが青瀬で行われるが、西山地区はシアノーノーの参加依頼が来ている。

助八古道歩こう会は青瀬コミュニティ協議会との調整ができていなくて、これからの調整による。

古町班の自治会班会議が行われ班長の交代がありました。旧班長 中村昌弘さんお疲れ様でした。新班長 中村周二さん よろしくお願います。

ヨモギ採り

4月4日、新年度の行事の先陣を切ってヨモギ採りが行われた。総会に先立つての行事となった。場所は上野竹といわれるところ。大内浦海岸の上。今年1月舗装が完成なった、林道「大内浦線」の途中。山菜取りやメジナつりに利用されている道路。10名の方が参加された。



左は草の整理には新たに8名が加わりにぎやかに作業が行われているところです。

ゆでる作業には5名の方が参加され3時ごろまで続きました。冷凍保存されたヨモギは、草餅を

製造する度に取り出して使用され、1年中使われる。

春採りの草は香りが良くて、草もちの中に含まれる草の量の多さとあいまって、西山の草もちの人気は上々です。



上・下自治会班長会議行われる



4月5日表題の会議が西山地区コミュニティセンターで開催され、以下の内容について協議された。

- ① ゴールド集落自主活動支援補助金事業は昨年に続き継続する。但し人口の高齢化が進んでいるので、人員の入れ替えなど、各班協力体制をとりながら行う
- ② 自治会長は下自治会が中村昌弘氏から中村周二氏に交代
- ③ 毎月第3日曜日に行う自治会の清掃活動は反圃班と古町班が協同して海岸清掃と、場合によって古町川清掃に当たる
- ④ 開田班から小迫班に支援人員を送る(下墓から上墓へ)

⑤ 油類のペットボトルは資源ゴミに出さないで燃えるゴミに出す事(要望)

⑥ 猫のエさは自宅与えること(要望)

⑦ 犬の放し飼いは慎むことなどが話し合われた。

⑧ 反圃班で宮野美津枝氏↓中村喬氏
古町班で中村隼子氏↓山下峯生氏
いずれも世話方の交替がありました。

以上

下飯島地域雇用・移住対策協議会設立に向けての情報交換会開催さる

3月7日、十八時三〇分から、長浜地区コミュニティに於いて表記の交換会もたれ当地区コミからも三役が出席した。

地域住民と行政が一体となり、各種事業を展開する方向で、協議会設立に向けて検討事項の確認、事業内容の検討、今後のスケジュールについて意見交換がなされた。

飯島インタープリター育成講座

平成28・29年度、2年間にわたる育成講座を終え、3月8日第1期生の修了証書授与式が、長浜地区コミで行われた。島外向けモニターツアーの実践、島外への飯島の売込みなどの活動を行うもので、今後の活動が期待される。近々2期生の募集も行われる。詳しくは飯島ツーリズム推進協議会へ問い合わせさせていただくか、コミセン窓口までお問い合わせ下さい。

下飯の草・花・木シリーズ14

ヒサカキ(ツバキ科・ヒサカキ属)
方名でサカシバとも呼ばれる。瀬々野浦では「ハカシバ」と呼ばれ、古来よりお墓に活ける花として親しまれてきた。



雌雄異株の常緑高木。葉は互い生。花期は3月ごろ、葉の脇に壺型で黄白色の花が咲く、花は強烈なおいを放ちハエ等がたかる。名のいわれは諸説あるが、そのひとつに

小型のサカキを意味する「姫サカキ」が転訛してそう呼ばれるとの説がある。

同じ科・属にハマヒサカキ(雌雄異株)がある。当地では主に仏壇に活けられ、現地名は「エンダ」と呼ばれる。

刈コミにも強く、庭の生垣にもつかわれ、人家の近くに多く生える。

ハマがつく名前のおり高い山では少なく、高度が増すほどヒサカキが幅を利かせている。

